



人と自然と つながる暮らし。 せせらぎの音と 窯がある風景。

陶房窯八

大橋 睦さん・恭子さん

移住先／北杜市武川町

南アルプスの麓、北杜市武川町に陶芸家、大橋睦さんの陶房「窯八」があります。

「出身は仙台、大学は東京で、陶芸は大学のサークルで始めました。山梨の窯場を見学したことがきっかけで、卒業後は富士川町にある増穂登り窯で働きました。そこから自分の窯を造るための理想の土地探しを始め、燃料となるアカマツが豊富な山梨に決めました。陶芸のまきに最適なアカマツですが、全国的に不足しているといわれています。これをいつも使えるのは幸せなことと思っています。縁あって、自然豊かな北杜市武川町に窯場を設けてから12年がたちました。

私は普段づかいの暮らしになじむ器を作りたいと思います。ですから、食卓で使いやすい大きさと形を一番よく知っている妻からのアドバイスを大切にしています。あと、日本酒が好き

やまなし暮らし支援センター

専門相談員が常駐し、山梨への移住や就職をお手伝い。就職・住宅情報をワンストップで提供。移住に関する相談会、セミナーなど各種イベントも開催しています。

■甲斐適生活相談会

富士の国やまなし移住・交流推進協議会の会員が、住宅・不動産などの情報を移住・二地域居住希望者に提供。個別相談会もあります。

2/28(日)……………東京交通会館12階(東京都千代田区有楽町)

■やまなし暮らしセミナー

毎回1つのテーマを取り上げ、市町村の紹介、移住者による体験談の発表、個別相談会などを行います。

2/13(土)・4/17(日)……やまなし暮らし支援センター

東京都千代田区有楽町2-10-1東京交通会館5階

TEL.03-6273-4306 FAX.03-6273-4307

E-mail:yamanashi@furusatokaiki.net

開設時間:火~日曜日 10:00~18:00

やまなし暮らし 検索



「2016年 七賢 蔵開きクラフト展」

七賢の蔵開きと合わせて開催される八ヶ岳で活動するクラフト作家のグループ展。窯八も酒器を中心に新作を発表。

会期:3月5日~3月13日 会場:山梨銘醸



表紙の酒器は睦さんの作品



窯八の横を流れる水は
米どころ・武川の水田へとつながっている

なので酒器やさかなを入れる器も作ります。お客さまは東京方面の方が多くですが、最近では地元の方も関心を持ってくれます。

私が感じる山梨の良さは、ダイレクトなところ。例えば、このまきはAさんの土地の松とか、これはBさんが作った野菜とか、何でも直に人や物へつながるコミュニケーション感があります。自然もダイレクトですね。あっちの山に雲が出てきたから雨が降りそうと言うと、本当に降ってくる」

東京出身の恭子さんは「私は山梨に来て、空と山がきれいで感動しました」と話します。「地元食材もおいしくて料理する喜びを感じますし、子どもたちもよく食べます。子どもたちはいざれ巣立っていきませんが、この地で育ったことを大切に思ってくれたらうれしいです」

窯八の「八」は末広がりの「八」と八ヶ岳の「八」。八ヶ岳を望む武川での暮らしの楽しみは日々広がっています。